

2023年10月吉日  
生活協同組合コープさっぽろ  
広報部

## コープさっぽろ職員向けのChatGPT「トドックGPT」を導入 約4,000人\*の職員が活用

生活協同組合コープさっぽろ(以下、コープさっぽろ)では、職員向けのChatGPT「トドックGPT」を開発し、全職員(約4,000人)\*の活用を10月より開始しました。

コープさっぽろでは、2020年にCIOとして長谷川秀樹が就任してから、Googleドキュメントやスプレッドシートなどの「Googleオンラインアプリ」の活用や内部のコミュニケーションツール「Slack」の活用など、DX化を進め、業務効率化を進めてきました。今回の「トドックGPT」も長谷川主導の元、デジタル推進本部が1日で導入したものです。約4,000人の職員に向けて「トドックGPT」を活用することで、さらなる業務効率の改善を進めたいと考えています。

「トドックGPT」とはコープさっぽろ独自の職員向けのChatGPTで、Slack内で文章作成や素案作成、分析、アイデア出しのサポートなどで活用できます。今回の導入により自身で調べて行うより大幅に時間を短縮することや自分の発想の幅を広げることが可能になります。

つきましては、以下のとおり実施いたしますので、取材のほどよろしくお願いたします。

### 【「トドックGPT」概要】

■対象:全職員約4,000人\*

\*Slackの個人アカウントを保有する職員

(「トドックGPT」は共有アカウントを使用することですべての職員が利用可能)

■使用方法:Slackで「@トドックGPT」に対して文章作成や分析を依頼する

■CIO長谷川秀樹コメント

『トドックGPT』の特徴はOpenAI社のChatGPTを使っているという点です。

コープさっぽろでは約4,000人の職員が使うため、その4,000人のユーザー誰でもがSlackをインターフェースとしてChatGPTが使える環境を整備しました。他の企業では使用制限や段階的に広げていく企業が多い中、コープさっぽろでは全職員が使える環境を整えたため、全職員にぜひ活用してほしいと考えています。

■使用例:

①Slack上で「@トドックGPT」宛に分析してほしいことを書き込む。



5:30 34分前

@トドックGPT

コープさっぽろが組合員200万人を達成した要因を分析して

②Slack上でその返信として、即座に分析結果が書き込まれる

トドックGPT アプリ 34分前

コープさっぽろが組合員200万人を達成した要因を分析するためには、具体的な情報やデータが必要です。ただし一般的な要因としては、以下の要素が考えられます：

- 1.信頼性と信用：コープさっぽろは地域に根ざした信頼性の高い組合として知られており、品質の高い商品やサービスを提供しています。これにより顧客の信頼を獲得し、組合員数の拡大につながることがあります。
- 2.地域貢献：コープさっぽろは地域貢献活動に積極的に取り組んでおり、地域のイベントや福祉活動などに参加しています。地域社会への貢献は、組合員や地域住民の共感呼び、組合員数増加に寄与することがあります。
- 3.会員制度の魅力：コープさっぽろの会員制度は、優れた特典や割引サービスが提供されるなど、組合員にとって魅力的なものである可能性があります。会員制度のメリットを享受するために組合員になる人が増えることで、組合員数が増加します。

これらは一般的な要因ですので、具体的なデータや情報をもとに分析を行えば、より詳細な要因を特定することができます。

[少なく表示する](#)

---

【報道関係のお問合せ先】

生活協同組合コープさっぽろ 常務理事 小松 均 広報部 広報メディアグループ 小林恵莉 ・ 森ゆかり  
〒063-8501 札幌市西区発寒11条5丁目10-1 TEL 050-1741-5516(平日9時～18時)